

# VTRを活用して

## “町たんけん”の導入

函館市立石崎小学校 志津野 直 文

“町たんけん”の活動の導入では、床地図や校区マップ、子どもたちの話に加えて、VTRを使ってみました。

登校してくる子どもたちは、いつも決まって「先生、今日ね…」と我先に手振り身振りで話しかけてきます。通学途中で見つけたことを、知らせたくて仕方がないのでしょう。学校周辺にはいろいろな“町の顔”があります。にもかかわらず、子どもたちが知り得る“顔”は、ほんの一部にすぎません。

そこで、VTRを活用することによって「私たちの町にはこんな楽しそうな所もあるんだね」「僕も行ってみたいな」「わたしも見てみたい」など、“町たんけん”への活動意欲を誘い出します。実際の“町たんけん”の活動では、VTRに登場する場面をよく知る子どもに、探検隊グループの案内役を務めさせてみるのもよいでしょう。いずれにしても、VTRは子どもに「未知の生活の場」の情報を提供することで、探検先の広がりを生む効果があります。

